

神聖なる運命を信じる事

アッラーは過去と現在の全ての事を知っています。そして未来に起こるだろう全ての事も知っています。アッラーは全ての者・物に対して力を持っています。アッラーの知識と許可が無ければ何も起こりません。全ての人は自身で正しい物と間違った物のどちらかを選ぶ自由意志が与えられています。そしてその選択に応じて責任を取らされます。様々な出来事はただ神様の知識と許可によってのみ起こると言う事実を自由意思は否定しません。全ての物事に対する神様の力は、人々の自由意思を制限するという事も否定しません。人間の決定についての神様の知識は、人間達がその様な決定を神様に強制されているという事も意味しません。神様は、その許可によって起こる全ての事を必ずしも喜んでいません。

信仰の五つの柱

ムスリム(イスラーム教徒)の生活の基盤

信仰告白

信仰告白はアッラー以外に神は無く、ムハンマドはアッラーの使徒であると言う事です。信仰の告白は心からの、嘘偽りの無い堅固な信念が基になるべきです。そして自発的な行動によるべきです。この告白と共に人々はあらゆる過ちを取り除き、アッラーは唯一の尊く崇拜すべき存在であると宣言し、アッラーからの最後のメッセンジャーを受け入れる事によりムスリム(イスラーム教徒)になります

一日に五回の礼拝

礼拝をする事はムスリム(イスラーム教徒)と創造主との個人的で霊的な繋がりを作り上げます。礼拝は人々の神様に従うという義務を思い出させ、それは決った作法かつ実践的な方法で行われます。礼拝の種類は、夜明け前、お昼、昼の中頃、夕方日が落ちてから、夜の五つあります。各お祈りは数分間の所要時間が必要です。お祈りはクルアーンを誦し、祈願し、アッラーを讃える等の一連の決りに沿って行われます。お祈りの準備としてムスリム(イスラーム教徒)は顔や両手等の身体を洗います。これは霊的そして身体を清潔にし、お祈りを正しいものにします。

毎年の喜捨

毎年の喜捨はある一定の基準に達した全てのムスリム(イスラーム教徒)にとっての義務です。(基準の値を超えて収入が有った人に課せられる義務です)毎年の収入のわずかに2.5%を貧乏な人や借金を支払う為に必要としている人に寄付します。それは人の収入を清浄化し、与える者と受け取る者の両者に多くの報償が神様から与えられます。これにより、お金持ちと貧乏人の間にある格差を無くし、全ての人の基本的な欲求を満たすのです。

毎年の断食

毎年のラマダーン月にムスリム(イスラーム教徒)達は夜明け前から日没まで断食をします。これは食べる事、飲む事を断つだけでは無く性交渉を断つ事も含まれます。断食は魂の浄化、忍耐と自己の規律を育み、多くの健康面での利益をもたらします。ラマダーンとはイスラーム暦における九番目の月の事です。

巡礼

ムスリム(イスラーム教徒)は健康でお金が有るのなら、サウジアラビアの聖なる都市メッカへの巡礼が、人生の中で一度はしなければならない義務と成っています。巡礼はイスラーム暦の12番目の月に行われます。巡礼中、唯一で真の神様を讃える事により、あらゆる肌の色の人達、あらゆる人種の人達、地位、年齢を問わず、人々を結びつける事になります。この素晴らしい旅は、羊を犠牲にする事や様々な場所でお祈りする事等、多くの行事を含んでいます。巡礼は人生を変化させ謙虚にさせます。人々をより忍耐強くし神様に対して感謝する様にさせます。全ての巡礼者はシンプルで似た様な服を着ます。それは階級や文化の区別を捨て去ります。その結果、全ての人は神様の御前に平等に立つ事に成ります。

崇拜の概念

アッラーを喜ばせる行い

イスラームの崇拜に対する概念は五つの礼拝のみに限定されません。崇拜とはアッラーを喜ばせるあらゆる行動の事を言います。これらが示す毎日の行動は、人の意志を浄化させ、人間の取る行動が神様の導きにそって行っている行動である事を確実にします。笑う事、近隣の人々に親切である事、家族を助ける事、正直である事、道に落ちているゴミをひろう事が神様への崇拜行為に値します。アッラー自身は人間の崇拜行為を必要としないという事に私達は注目すべきです。私達がアッラーを必要とし、私達の崇拜行為は自身の報償を神様から得る為にするのです。

結論

上記で言及した様々な崇拜行為は、信仰に対する側面とイスラームの根本的要素を形作る行為です。崇拜行為を習慣的に行った時、イスラームは霊的に、身体的に、精神的に、全ての人の社会的必要性を満たします。それは人生の実践的で合理的な方法なのです。その上崇拜行為は、人間が全能の主を受け入れられる唯一の方法であり、永遠の楽園へと導かれる唯一の道なのです。誰でも善い行いをなし(真の)信者ならば、男でも女でも、われは必ず幸せな生活を送らせるであろう。なおわれは彼らが行った最も優れたものによって報奨を与えるのである。(クルアーン16章97節)

イスラームとは

基本を学ぶ



Conveying Islamic Message Society
P.o.Box 834 - Alex - Egypt
E-Mail: info_en@islamic-message.net
E-mail: cims_eg@yahoo.com
Site: www.islamic-message.net
Not for sale

تعريف
بالإسلام
باللغة الأيوبانية

質問等ありましたら、お気軽に下記のアドレスまでお寄せください。

islam.sitsumon@gmail.com

www.islamhouse.com



イスラームについて

イスラームは人生の自然で完全な道です。それは人々に神様との関係に細心の注意を向けなさいと促します。神様の導きに従い、善い行いをする事で、神様に近付き永遠に続く幸せと平安がある事を理解するのです。ムスリム(イスラーム教徒)は世界の人口の約5分の1を構成しています。これはイスラームが世界宗教の1つである事を意味します。唯一の本当の神様を崇拝する事は人生の目的であり、イスラームの基礎なのです。アラビア語のイスラームという言葉の意味は、唯一の本当の神様にのみ服従するという事です。自発的に自らの意志を神様に委ねている人をムスリム(イスラーム教徒)と呼びます。ムスリムはあらゆる人種と民族的な背景を持った人々で構成されています。イスラームの他の宗教と異なる特徴的な点は、人や民族の名前によって名付けられた宗教では無いという事です。

信仰の六つの側面 アッラーを信じる事

アッラーは唯一の真実の神様の名前です。アッラーは唯一の真実の神様のアラビア語の名前です。人間がアッラーを見る事は出来ません。パートナーはいません。同等の者もなく、子供も両親もいません。神様は創造物と同じではありません。誰も神様の神聖な御名と完全な性質を共有する事は出来ません。神様の御名と性質はこう呼ばれます。創造主。最も慈悲深きお方。最も高貴な御方。力強い御方。正義の御方。賢い御方。全てを知り養われる御方。神様は全ての創造主で、全てを養われる御方です。神様は私達に数える事の出来ないくらいの恩恵を与えて下さっています。例えば私達の聞く、見る、話す、歩く、社会を営むことのできる知性や能力などです。私達は神様の導きに従い、神様のみを感謝し讃えるという事を認めるべきです。複雑でバランスの取れた宇宙は、力強く知的な何らかの存在以外には形作る事が出来ないという事を理性的に結論付ける必要があります。ですから宇宙はそれ自身が形作ったという説や、行き当たりばったりで偶発的な出来から宇宙は形作られたという考えは非合理的です。

天使を信じる事

天使は創造主に与えられた職務を全うし、神を崇拝する為に光から作られました。いくつかの天使はその詳細が明らかになっています。

例えばガブリエル(ジブリエル)は神様のメッセージを預言者に伝えました。他には人間の魂を取る死の天使等が知られています。

明かな書物を信じる事

アッラーは彼の預言者に人類への導きと慈悲を与える為に数々の神聖な啓示を送りました。モーセに下されたトーラー(ユダヤ教徒の啓典)やキリストに下された福音(キリスト教徒の啓典)などです。そしてクルアーンはムハンマド(彼らの上に平安がありますように)に下された最後の啓典です。クルアーンは神様の本当の言葉です。そして全人類への最後の啓示です。そこには多くのはっきりとした証があります。その中に書かれた数々の譬えは神様からの奇跡を表しているのです。

全能の神を信じる事は、人間に生来の物として現れる端的で純粋な神様からの普遍的なメッセージです。クルアーンの中に書かれている言語の独創的なスタイルは雄弁なアラビア語の最も優れたものです。そして言語的な美しさは普遍的な物として知られています。その一方でクルアーンに書かれている預言者ムハンマド(彼の上に平安がありますように)は歴史的に文盲であった事が知られています。クルアーンには1400年以上も前に述べられた事であるにも関わらず、近年に発見された多くの科学的な事実があります。改竄され、書き換えられ、失われた他の啓典と異なり、クルアーンの素晴らしさは預言者が神様からのメッセージを受けた時の言葉通り、忠実にアラビア語で保存されているという事です。クルアーンの中に書かれている奇跡は他の様々な誤りや矛盾からは程遠いものです。クルアーンの中に書かれてある多くの独創的で奇跡的な側面に対する合理的な説明は、これらの事は神様にしか出来ないという事です。預言者ムハンマド(彼の上に平安がありますように)の確実な言動と共に、それはイスラームの知識の根本的な源です。

預言者を信じる事

ムスリム(イスラーム教徒)の信じる多くの預言者達はアッラーによって送られました。それは少なくとも各国に一人、神様のメッセージを運ぶ為に送られました。これらの預言者達はアダム、ノア、アブラハム、ダビデ、ヨセフ、モーセ、イエスそしてムハンマド(彼らの上に平安がありますように)等です。その命令は人々が唯一の絶対神にお祈りする様に立ち帰らせる事と、人々がどの様に神様に従ったら良いのかの実践的な見本を保つ為です。そしてこれらの預言者は人々を救済の道へと導く事を使命としています。預言者は単なる人間で、神様の神聖性のあらゆる部分において何も共有しておらず、そし

て預言者達に対するあらゆる種類の崇拝行為、神様に直接ではなく預言者達に祈り仲介を求めることは、神様のみを崇拝するという決まりに反しているため厳格に禁止され違反と考えられています

預言者イエス

ムスリム(イスラーム教徒)はイエスは誇るべき神の預言者であり、処女である母マリアから奇跡として生まれたと信じています。イエスは神様の許可において数多くの奇跡を行いました。それは病気を癒す事、盲目の者を治療する事、非難から彼の母を守る為に新生児なのに話をした事等が上げられます。ムスリムはイエスを尊敬し愛しているにも関わらず彼を崇拝していません。イエスは神様の子供とは考えられていません。三位一体の一つであるとも考えられていません。神様の完全性をイエスは何も共有していないのです。

神様は言っています「アッラーに子どもが出来るなどということはありません。かれに讃えあれ。かれが一事を決定され、唯「有れ。」と仰せになれば、即ち有るのである。(クルアーン 19章 35節)

預言者ムハンマド

ムハンマド(彼の上に平安がありますように)は人類に送られた最後の預言者なのです。ムハンマド(彼の上に平安がありますように)はどの様にその教えが用いられるべきなのかを示す為にクルアーンと共にやって来ました。ムハンマド(彼の上に平安がありますように)は正直、慈悲、情熱、正しさ、勇敢な人間としての完全なお手本です。キリストを神様として崇拝しないのと同様にムスリム(イスラーム教徒)はムハンマドを崇拝しません。

最後の審判の日を信じる事

最後の審判の日は避ける事の出来ない出来事です。私達の各々が創造主の前に立ち、良い行いと悪い行いについて質問されるのです。私達の行いはその大小の如何に関わらずにカウントされるのです。この重大な日において、全能のアッラーは全ての出来事を公正に判断し、誰一人として誤ってアッラーに判断される者はいないのです。全ての人々の権利は自身に帰すのです。人が樂園での報償を受け取るのか、地獄での懲罰を受けるのか、これら全ての事はアッラーの御前で正当に扱われるのです。最後の審判の日が無ければ、人生は不公正になってしまい、この世界の全ての人々が正義を受け取る事が出来なくなってしまいます。